

# 学生図書委員会 読書感想文

.....  
本年度は新型コロナウイルスの影響により読書感想文コンクールが中止になりましたので、学生図書委員会による読書感想文を掲載させていただきます。

『奇跡は路上に落ちている』 軌保博光 著

## RUNNER'S HIGH

電子制御工学科2年 岩崎 圭吾

テレビで落語家の月亭方正を見たことがある人は大勢いるだろう。彼は二十数年前、お笑いコンビ「TEAM 0」を組んでいた。相方の名前は軌保博光。彼の自伝「奇跡は路上に落ちている」は、映画を撮るために芸人をやめてから、路上人としてその資金を貯め続けていた間のことを記したものである。

同士達と共に借金までして映画製作資金を集めるも、度重なるアクシデントにより予定していたクランクインを断念した彼は、表参道の路上に座っていた。「あなたを見てインスピレーションで言葉を書きます。一枚一円から」はじめは一日数百円しか売り上げが無かった。だが、路上には、たくさんの出会いがあった。禁止されている路上販売をしているために、警察に通報されたりすることもあったが、色々な人たちに励まされながら言葉を書いていくうちに徐々に人だかりができるようになり、売り上げもどんどん伸びていった。やがて今までの言葉をまとめた本を出したり、雑誌やテレビのインタビューを受けたりするようになり、最終的には、個展を開けるようになるまで人気になっていく。

読んでいく中で、路上での活動の様子は、不特定多数の人に見られているところなどがどことなくSNSに似ているように感じた。

この自伝には、今までに書いてきた言葉もいくつか紹介されている。彼の言葉は、「迷ったら迷わず楽しい道へ行け」「君は君が思うより数倍『きれい』だから自信を持って行け」といった、迷いに対してそっと背中を押してもらえたり、勇気が湧いてくるような言葉ばかりだ。ちなみに私の個人的なお気に入りの言葉は、「今日の一步は明日へのプレゼント」である。特に心に残った部分がある。

「昔から、目標や夢は、会う人みんなに言ってきた。もちろん、言葉にして、できなければ恥をかくことになる。実現できなくて恥をかいたことは数え切れない。でも、その程度の恥が何やっちゅうねん。やりたいことは、まず口に出すべきだと思う。そうすることで初めて応援してくれる人も現れる。」ポジティブさと夢に対する貪欲さ。それが努力の原動力となり、たくさんの人を励ます言葉の、素になったのではないだろうか。

確かに奇跡は路上に落ちていた。だがそれ以上に、今まで培ってきた努力の軌跡こそが、夢への大きな一歩になったのではないかと私は思う。

『凶南の翼』 小野不由美 著

## 凶南の翼を読んで

機械工学科1年 溝上 穹

凶南の翼とは、大きな事業を遠い地で成そうとする志や計画を意味する諺である。そしてその題名の通り、この物語は珠昌という12歳の少女が王になるために蓬山を目指す物語だ。彼女の住む国、恭国は先王が倒れて27年が経ち妖魔が徘徊するほどに乱れていた。そんな中、この国はどうなるのかと嘆きながら、自分は王になれるはずがないと行動しない大人たちに憤りを覚え、ならまず自分が王を目指そうと決意する。そこで旅を続けていく中で、蓬山行く道に詳しい頑丘と出会い、護衛として雇う。珠昌は彼の現実主義で、他の人を助けられない旅の仕方に反発感を抱くが、彼にはそれを「お前に何がわかる」と一蹴されてしまうのだった。彼女はそういう彼と喧嘩をして、1人で旅をすることを決意した。しかし彼女は他の人と旅を続け、妖魔に襲われたりする中で自分も人を犠牲にしたりしながら生き延びて、全てを助けることは不可能だと知った。私がもし小学生の時にこの本を読んでいたなら、おそらくこの本が嫌いだったと思う。なぜなら私は小学生だった時、珠昌のように自分が正しいと思ったことは曲げずに、ずっと押し通すような子だったからだ。きっと大人の事情を押し付ける頑丘を嫌い、それを徐々に受け入れていく珠昌にも共感できなかっただろう。

小学生の時、年上の他校の集団に意地悪を言われて、友達とたった2人で文句を言いに行ったことがある。しかし学校の先生には「なんで言いに行ったの？危ないでしょう。他の友達に危険が及ぶかもしれないのに。」と怒られてしまった。その当時はなんで怒られてるのかわからなかったが、今もし文句を言われても年上相手に言いに行こうとは思えない。そして改めて考えると、先生が思わず怒ってしまったこともわかる。実際正しいことでも実行するには危険が伴ったり、したくてもできないことだってある。それをこの本を通して改めて感じ、それでもなお清く正しくいようとする珠昌の綺麗な心に感動した。さらに、自分も昔は持っていたそのような考え方がいつの間になくなってしまっていたことが悲しくなった。理想主義と現実主義はどちらがいいのかはわからないが、今後は少し珠昌を見習って、清く正しく生きていくのに拘ってみてもいいかもしれない。

### 図書館だよりの表紙絵について

図書館だよりの表紙絵は、美術の授業の作品で教員から推薦された中から、教育支援センター運営委員会での投票により選出しています。ホームページでは、候補作も含めすべての作品がご覧になれます。アニメーション付きのものもあります。

『精霊の守り人』 上橋菜穂子 著

## 精霊の守り人から学んだこと

情報工学科1年 村上 拓也

女用心棒である主人公バルサが、川に落ちてしまった第二皇子を助けた事から、彼女の運命が、大きく変わります。第二皇子チャグムを助けたお礼に、妃より宮殿でもてなしを受けたバルサ。そこで、バルサは妃より「チャグムの実の父である帝が、精霊の卵を宿した息子を疎み、暗殺を試みている」という衝撃の事実を聞かされ、チャグムの用心棒を頼まれます。刺客は帝の使い手、それは用心棒として実績があり、短槍使いとして、その道では知らぬ者が居ない程の実力を誇るバルサにとっても、命懸けの仕事となる事を意味していたのです。「ここで死ぬか、用心棒としてチャグムを守りきることに賭けるか」の決断を迫られ、依頼を受ける事にしたバルサ。ここから、帝の使い手である刺客からチャグムを守り続けるバルサと、第二皇子であり、運命に翻弄されるチャグムの逃亡劇が始まります。

少しでも気を抜けば殺される、帝の使い手との戦いをする一方で、チャグムの体に宿った精霊の卵によって、振り回される二人。また、卵を狙った異世界の魔物からも命を奪われそうになるチャグム。建国神話の秘密も徐々に明らかになり、神話の秘密を知り、そして事情が理解されたお陰で、かつての刺客達は、異世界からの魔物と共に闘う仲間となっていました。そして、卵を魔物から守りきり、無事に孵ることになるのです。物語は終わったかに思ったその時、第一皇子が病に倒れ、皇太子となる事を告げられるチャグム。チャグムはバルサ達の為に、自らの運命を受け入れ、皇太子として、宮殿に戻ったのです。チャグムを宮殿付近まで送り届け、これからの事を考えるバルサ。そして再び、女用心棒バルサの新たな冒険が始まるのです。

実際に読んでみると、それぞれの登場人物に立場や人生があることを感じさせられ、一人では難しい事でも、友人や仲間と一緒に助け合えば成し遂げられると、仲間の大切さや偉大さを強く感じました。これからは今まで以上に、周りの人達を思いやり、そしてそれ以上に助け合えるように、思いやりを持って生活するよう、心掛けていこうと思いました。

また、読書が好きで数多くの本を読んできたと自負していますが、久しぶりに物語に引き込まれ、没頭してしまった気がしました。これからも、寝る間も惜しんで没頭してしまうような素敵な何かに多く出会いたいです。

『氷菓』 米澤穂信 著

# 不思議な日常

情報工学科4年 ニツ井 克空

「わたし、気になります」

これは作品の中で「千反田える」という女子が折木 奉太郎に対して不思議なことが起こった時にいうセリフである。これを最初に読んだときはすごく好奇心の強い子だなと感じた。そこで、なぜそこまで気になるのか知りたくてこの本を読んでもらうことにした。

この本は文化系部活動が活発で有名な神山高校に入学した男女4人が部員0人で廃部寸前の古典部に入部し学校生活において発生した謎を解決していく作品である。具体的には登場人物の一人である折木は物事に積極的に参加しない「省エネ主義」を信条としており、古典部に関してもあくまで「名前」のみを置いておくつもりだったが千反田の好奇心に引きずり込まれのちに入部した福部里志と伊原 摩耶花ともにドアに鍵をかけていないにもかかわらず施錠されていたことや「神山高校五十年の歩み」という大判の本を借りた当日中に返却されていることや33年前に文化祭の規模縮小を阻止して退学した「関谷 純」に関する謎について解いていくという作品である。

この作品の面白いところは一見日常の様子について描かれているように見えて実は日常的というには不思議な出来事が起こっているというところである。例えば、上記のあらすじにおいて記述した「学校生活における謎」もそうだが普段の生活においてそのようなことはないとは言わないが、少ないように感じる。(すくなくとも私が奈良高専で生活しているうえでは見聞きした覚えはない)しかし、この本を読んだからはもしかしたらこのような不思議なことを発見する努力をしていないだけで実は生活上のいろいろなところであるかもしれないということを考えるようになった。皆さんも「日常生活上の不思議」?を探す努力をしてみてもどうだろうか。

未筆ではあるが、この「氷菓」以外にも古典部シリーズとして6冊の本がすでに発刊されており、図書館にもあるので興味があるなら読んでみてほしい。もしかしたら日常に潜む不思議なことを探すヒントを貰えるかもしれないから。



## 学生図書委員会作成 図書館&おすすめ本紹介動画

学生図書委員会が図書館とおすすめ本の紹介動画を作成し、高専祭(オンライン)に出展しました。その動画の図書館紹介部分は図書館ホームページで公開しています。